

## 2020 年度 第二種奨学金（海外）申込みに係る書類及び提出書類の一覧

## 1. 申込みに係る書類

インターネット(スカラネット)からの申込情報入力に代えて、次の①～④の書類の提出が必要です。

①	第二種奨学金（海外）申込みに係る重要事項確認
②	2020 年度 第二種奨学金（海外）申込書〔海外大学用〕（記入例付き）
③	2020 年度 第二種奨学金（海外）申込書〔海外大学用〕記入要領
④	第二種奨学金（海外）奨学金振込口座届

## 2. 提出書類

以下の書類を学校が指定する期限までに提出してください。

	書類	提出が必要な人	「貸与奨学金案内」 の説明ページ
(1)	「第二種奨学金（海外）申込みに係る重要事項確認」	申込者全員	—
(2)	「2020 年度 第二種奨学金（海外）申込書〔海外大学用〕」 （記入例付き）	申込者全員	—
(3)	「第二種奨学金（海外）奨学金振込口座届」	申込者全員	—
(4)	「2020 年度 第二種奨学金（海外）確認書兼個人情報情報の 取扱いに関する同意書」	申込者全員	25 ページ
(5)	【様式A】「提出書類一覧表」	申込者全員	41 ページ
(6)	【様式B】「留学計画書」	申込者全員	26～27 ページ
(7)	学校資料（日本語訳添付）	申込者全員	28 ページ
(8)	【様式C】「家計状況申告書」	申込者全員	30 ページ
(9)	収入に関する証明書類 <sup>(注)</sup>	申込者全員	31～35 ページ
(10)	障害のある人がいる世帯の場合の証明書	条件に該当し、 特別控除を希望 する人	36 ページ
(11)	【様式D】「単身赴任実費計算書」 家計支持者が単身赴任している場合の証明書類		36 ページ
(12)	【様式E】「長期療養費計算書」 長期に療養を必要とする人がいる世帯の証明書		37 ページ
(14)	災害等により長期にわたり収入減（支出増）となった世帯 の場合の証明書		37 ページ
(15)	在留資格・在留期限に関する証明書類	外国籍の人	24 ページ

※「様式集」の間に挟み込まれている「スカラネット入力下書き用紙」は使用しません。

裏面に続く

(注) 収入に関する証明書類について

- ・ 奨学金の貸与を申し込むにあたっては、2018 年 1 月～12 月の生計維持者（父母または父母がいない場合は代わって生計を維持している人）の収入状況を証明する書類の提出が必要です。
- ・ 原則として「所得証明書」の提出が必要ですが、「貸与奨学金案内」（31～35 ページ）をよく読んで、正しい証明書類を用意してください。特に 2018 年 1 月 2 日以降に就職、転・退職、開業等があった場合は、それぞれのケースによって提出書類が異なりますので注意してください。
- ・ 特別控除に該当する項目がある場合は、「貸与奨学金案内」（36～39 ページ）を参照し、それぞれ必要な証明書類を用意してください。

## 第二種奨学金(海外)申込みに係る重要事項確認

奨学金の申込みにあたって、以下の貸与奨学金における確認事項を全て確認し、理解している場合は「はい」に ☒ を記入してください。

全ての事項(9項目)を確認した後、「第二種奨学金(海外)申込書」を記入してください。

全ての項目にチェックが入っていない場合、奨学金の申請を受け付けることができません。

記入日 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日

在籍(出身)学校名 \_\_\_\_\_ 申込者氏名 \_\_\_\_\_

確 認 事 項	はい (理解している)
① 日本学生支援機構の <b>貸与奨学金</b> は、奨学生本人(自分自身)に <b>返還の義務</b> があります。 <b>返還の義務</b> を果たしていない場合等は、新たに奨学金を利用できないことがあります。 ※ 貸与奨学生採用後は、 <b>指定された期日までに「返還誓約書」を提出</b> する必要があります。	<input type="checkbox"/>
② 借りる金額が大きいと返す時の負担も大きくなります。 <b>貸与奨学金の貸与月額</b> は、 <b>月々必要となる金額</b> をよく考えて選ぶ必要があります。 ※ 日本学生支援機構ホームページの「奨学金貸与・返還シミュレーション」から貸与額・返還額の試算を行ってください。 ※ 貸与開始後は、所定の手続きにより貸与月額を変更することができます。	<input type="checkbox"/>
③ <b>海外留学の貸与奨学金</b> を借りる際は、「 <b>機関保証制度</b> 」と「 <b>人的保証制度</b> 」の両方を選ぶ必要があります。「機関保証制度」については、一定の保証料を支払う必要があります。「人的保証制度」については、要件を満たす連帯保証人と保証人を選ぶことが必要です。 ※ 保証制度の詳細は、日本学生支援機構ホームページや「貸与奨学金案内」を確認してください。 ※ 海外留学の貸与奨学金のうち、国内在学中に海外の大学等に短期留学する場合は、「機関保証制度」か「人的保証制度」のいずれかを選びます。	<input type="checkbox"/>
④ 第二種奨学金(有利子)を借りる際は、利率の算定方法として「 <b>利率固定方式</b> 」か「 <b>利率見直し方式</b> 」のいずれかを選ぶ必要があります。 ※ 入学する際の一時金「入学時特別増額貸与奨学金(有利子)」および留学する際の一時金「留学時特別増額貸与奨学金(有利子)」を借りる際も、利率の算定方法を選ぶ必要があります。 ※ 利率は貸与が終了した時に決まります。なお、基本月額に係る利率は年3%が上限です。最新の利率は日本学生支援機構ホームページを確認してください。 ※ 利率の算定方法の詳細は、日本学生支援機構ホームページや「貸与奨学金案内」を確認してください。	<input type="checkbox"/>
⑤ 奨学生になった後は、毎年1回、奨学金継続の意思を確認するために「 <b>奨学金継続願</b> 」を提出する必要があります。「奨学金継続願」を提出しないと奨学生としての身分が廃止されます。また、例えば、学業不振が継続したり卒業延期の恐れがある場合は、奨学生としての身分が廃止されたり、一定期間、奨学金の振込が停止されることがあります。 ※ 廃止:奨学生としての資格を失います。廃止後は、奨学金の振込を行いません。貸与奨学金は廃止により貸与が終了するため、返還手続に移ることになります。 ※ 停止:停止後は、奨学金の振込を行いません。停止事由(学業成績不振等)が解消されれば、必要な手続きを経て振込が再開されます。	<input type="checkbox"/>
⑥ <b>貸与奨学金の返還は、口座振替(リレー口座)</b> により行い、貸与終了後7か月目から始まります。 ※ 3月貸与終了者の場合、10月27日から返還が始まります。 ※ 毎月の返還金の振替日は、原則27日です。	<input type="checkbox"/>
⑦ <b>住所が変わった場合は、必ず日本学生支援機構に届け出る</b> 必要があります。	<input type="checkbox"/>
⑧ <b>貸与奨学金</b> の返還が困難となったときは、願い出により、月々の返還額を1/2または1/3に減額し、適用期間に応じた分の返還期間を延長する「 <b>減額返還制度</b> 」や、一定期間返還期限を先送りする「 <b>返還期限猶予制度</b> 」を利用できる場合があります。	<input type="checkbox"/>
⑨ <b>貸与奨学金</b> は、所定の返還期限を過ぎると、延滞している割賦金の額について所定の延滞金が賦課されます。 ※ 延滞金の利率は、年(365日当り)5%の割合となっています。 ※ 借りた奨学金の種類(無利子・有利子)に関らず、延滞すれば延滞金を支払う必要があります。 ※ 万一延滞となった場合は、延滞期間に応じて、電話による督促、延滞金の賦課、連帯保証人や保証人への請求、個人信用情報機関への情報の登録、一括返還請求、法的措置等が行われることになります。	<input type="checkbox"/>

# 記入例

親権者欄・学校記入欄以外は全て申込者本人が記入してください。

## 2020年度 第二種奨学金(海外) 申込書 [ 海外大学用 ]

記入日を記入

日本国籍の場合は  
未記入で可

提出時に切り離してください。

独立行政法人 日本学生支援機構理事長 殿		(西暦) <b>2019</b> 年 <b>0</b> 月 <b>0</b> 日	
私は、学位の取得を目的として留学するにあたり、貴機構の奨学金を申し込みます。本奨学金の貸与が認められた場合は、日本学生支援機構が定める諸規程等を遵守し、返還することを確約します。なお、下記の記載事項に相違ありません。			
本人	氏名	フリガナ <b>ショウガク タロウ</b> (申込者本人自署) <b>奨学 太郎</b>	性別 ※ <b>男</b> <input checked="" type="radio"/> 女 <input type="radio"/> 生年月日 <b>2000</b> 年 <b>12</b> 月 <b>1</b> 日 T E L <b>03 - 0000 - 0000</b>
	住所	〒 <b>162 - 0845</b> <b>東京都新宿区市谷本村町 10-7</b> (国内住民票住所)	外国籍の方は在留資格
	本人が未成年者(20歳未満)の場合は、親権者がそれぞれ自署・押印してください。親権者とは民法に定められた親権者のことです。通常は両親(いずれかの方がいないときは一人)です。なお、後見人がある場合には後見人の方が自署・押印してください。		
親権者	(父・後見人) 氏名 <b>奨学 一郎</b> 住所 <b>東京都新宿区市谷本村町 10-7</b> 生年月日 <b>1964</b> 年 <b>2</b> 月 <b>5</b> 日 TEL <b>03 - 0000 - 0000</b>	奨学	
	(母・後見人) 氏名 <b>奨学 花子</b> 住所 <b>東京都新宿区市谷本村町 10-7</b> 生年月日 <b>1969</b> 年 <b>1</b> 月 <b>30</b> 日 TEL <b>03 - 0000 - 0000</b>	奨学	
国内在学(出身)学校		学校名 <b>日本学生支援専門学校</b>	学部・学科 <b>外国語学科</b>
学種※	<input checked="" type="radio"/> 1. 大学 <input type="radio"/> 2. 短期大学 <input type="radio"/> 3. 専修学校(専門課程) <input type="radio"/> 4. 高等専門学校	卒業※ <b>2020</b> 年 <b>3</b> 月 <input checked="" type="radio"/> 1. 卒業 <input type="radio"/> 2. 卒業見込 <input type="radio"/> 3. 退学見込	
海外入学(編入) 予定学校	学校名 (日本語名) <b>エービーシー大学</b>	学校名 (英語名) <b>University of ABC</b>	
学部・学科 (英語名) <b>Sociology</b>	国・地域名 <b>アメリカ</b>	入学形態※ <input checked="" type="radio"/> 1. 入学(1年次) <input type="radio"/> 2. 2年次編入 <input type="radio"/> 3. 3年次編入 <input type="radio"/> 4. 4年次編入	
奨学金申込情報※			
希望	<input type="radio"/> 2. 3万円 <input type="radio"/> 3. 4万円 <input checked="" type="radio"/> 4. 5万円 <input type="radio"/> 5. 6万円 <input type="radio"/> 6. 7万円 <input type="radio"/> 7. 8万円 <input type="radio"/> 8. 9万円 <input type="radio"/> 9. 10万円 <input type="radio"/> 10. 11万円 <input type="radio"/> 11. 12万円		
入学時特別増額貸与奨学金を <input checked="" type="radio"/> 1. 希望する ( <input type="radio"/> 10万円 <input type="radio"/> 20万円 <input type="radio"/> 30万円 <input type="radio"/> 40万円 <input checked="" type="radio"/> 50万円) <input type="radio"/> 2. 希望しない			
利率の算定方法は <input checked="" type="radio"/> 1. 利率固定方式 <input type="radio"/> 2. 利率見直し方式			
履歴情報 あなたは、これまでに日本学生支援機構又は日本育英会の奨学金の貸与を受けたことがありますか(都道府県等の奨学金は除く)。受けたことがある人は、すべての奨学生番号を以下に記入してください。			
奨学生番号		<input checked="" type="radio"/> 1. <b>818-08-000000</b>	<input type="radio"/> 2. <input type="radio"/> 3.
連帯保証人	氏名	フリガナ <b>ショウガク イチロウ</b> <b>奨学 一郎</b>	続柄 <b>父</b> 生年月日 (西暦) <b>1964</b> 年 <b>2</b> 月 <b>5</b> 日
	住所	〒 <b>162 - 0845</b> <b>東京都新宿区市谷本村町 10-7</b>	電話番号(自宅) <b>03 (0000) 0000</b> 携帯電話番号 <b>090 (0000) 0000</b>
	勤務先名	<b>(株)奨学企画</b>	勤務先電話番号 <b>03 (0000) 1111</b>
保証人	氏名	フリガナ <b>キコウ アキコ</b> <b>機構 明子</b>	続柄 <b>おば</b> 生年月日 (西暦) <b>1962</b> 年 <b>4</b> 月 <b>6</b> 日
	住所	〒 <b>530 - 0026</b> <b>大阪府大阪市北区神山町0000</b>	電話番号(自宅) <b>06 (0000) 0000</b> 携帯電話番号 <b>090 (1111) 0000</b>
	勤務先名	<b>(有)機構商店</b>	勤務先電話番号 <b>06 (0000) 9999</b>

住民票と  
同一の住所

※ 右上の記入日において、本人が未成年の場合、同一筆跡・同一印不可。

「印鑑登録証明書」で登録している住所

## 2020年度 第二種奨学金(海外) 申込書 [ 海外大学用 ]

「記入例」及び「記入要領」等を参照し、申込者本人が必要事項を正しく記入してください。(親権者欄は親権者本人が記入してください。)

「※」の箇所は、該当するものを○で囲んでください。

独立行政法人 日本学生支援機構理事長 殿				(西暦) 年 月 日			
私は、学位の取得を目的として留学するにあたり、貴機構の奨学金を申し込みます。本奨学金の貸与が認められた場合は、日本学生支援機構が定める諸規程等を遵守し、返還することを確約します。なお、下記の記載事項に相違ありません。							
本人	氏名	フリガナ (申込者本人自署) 印		性別 ※	男 ・ 女		
	住所	〒 —		生年月日 T E L	年 月 日 — —		
本人が未成年者(20歳未満)の場合は、親権者がそれぞれ自署・押印してください。親権者とは民法に定められた親権者のことです。通常は両親(いずれかの方がいないときは一人)です。なお、後見人がある場合には後見人の方が自署・押印してください。				外国籍の方は在留資格			
親権者 (未成年後見人)	(父・後見人)	必ず親権者(父)本人又は未成年後見人 本人が氏名を書いてください		住所			
	氏名	印		生年月日	年	月	日 TEL — —
	(母・後見人)	必ず親権者(母)本人又は未成年後見人 本人が氏名を書いてください		住所			
	氏名	印		生年月日	年	月	日 TEL — —
国内在学(出身)学校		学校名		学部・学科			
学種 ※	1. 大学 3. 専修学校(専門課程)	2. 短期大学 4. 高等専門学校	卒業 ※	年 月 1. 卒業 2. 卒業見込 3. 退学見込			
海外入学(編入) 予定学校		学校名 (日本語名)		学校名 (英語名)			
学部・学科 (英語名)		国・地域名		入学形態 ※		1. 入学(1年次) 2. 2年次編入 3. 3年次編入 4. 4年次編入	
奨 学 金 申 込 情 報 ※							
希望貸与月額は		1. 2万円 2. 3万円 3. 4万円 4. 5万円 5. 6万円 6. 7万円 7. 8万円 8. 9万円 9. 10万円 10. 11万円 11. 12万円					
入学時特別増額貸与奨学金を		※希望する場合はどれか1つの金額に○をつけてください。 1. 希望する (10万円 ・ 20万円 ・ 30万円 ・ 40万円 ・ 50万円) 2. 希望しない					
利率の算定方法は		1. 利率固定方式 2. 利率見直し方式					
履歴情報		あなたは、これまでに日本学生支援機構又は日本育英会の奨学金の貸与を受けましたことがありますか(都道府県等の奨学金は除く)。 受けたことがある人は、すべての奨学生番号を以下に記入してください。					
奨学生番号		①		②		③	
連帯保証人	氏名	フリガナ		続柄	生年月日		
	住所	〒 —			(西暦) 年 月 日		
	勤務先名	□ 無職		電話番号(自宅)	( ) □なし		
				携帯電話番号	( ) □なし		
保証人	氏名	フリガナ		続柄	生年月日		
	住所	〒 —			(西暦) 年 月 日		
	勤務先名	□ 無職		電話番号(自宅)	( ) □なし		
				携帯電話番号	( ) □なし		
	勤務先名	□ 無職		勤務先電話番号	( )		

※※※ 必ず裏面も記入してください ※※※

(2019.06)

「記入例」及び「記入要領」等を参照し、申込者本人が必要事項を正しく記入してください。

同一生計の家族	就学者を除く家族	続柄	氏名	年齢	所得の種類 ※	収入金額	所得金額
					給与・自営・その他	万円	万円
					給与・自営・その他	万円	万円
					給与・自営・その他	万円	万円
					給与・自営・その他	万円	万円
	就学者（本人を除く）	続柄	氏名	設置者 ※	就学先学校の種類 ※	通学別 ※	
				国公・私立	小・中・高・高専(1～3年次)・高専(4年次以上)・専修(高等)・専修(専門)・大学	自宅 自宅外	
				国公・私立	小・中・高・高専(1～3年次)・高専(4年次以上)・専修(高等)・専修(専門)・大学	自宅 自宅外	
				国公・私立	小・中・高・高専(1～3年次)・高専(4年次以上)・専修(高等)・専修(専門)・大学	自宅 自宅外	
				国公・私立	小・中・高・高専(1～3年次)・高専(4年次以上)・専修(高等)・専修(専門)・大学	自宅 自宅外	
世帯人数 (本人含む) 人		就学者人数 (本人・就学前の弟妹含む) 人					
特別控除額	ア. 本人の就学者控除 (一律74万円)					74 万円	
	イ. 母子・父子世帯(18歳未満の子女及び60歳以上で経済力のない祖父母の世帯等) (一律99万円)					万円	
	ウ. 障害者のいる世帯(公害疾病認定を受けた人、常に就床を要する要介護者等) (一人につき99万円)					万円	
	エ. 主に生計を維持している人が別居している世帯(別居による住居・光熱水費・家具等の実費)(71万円限度)					万円	
	オ. 長期療養者のいる世帯(6ヶ月以上療養中の人または療養を必要とする人)					万円	
	カ. 火災・風水害または盗難等の被害を受けた世帯(被害額または被害による支出増・収入減となる金額)					万円	
家庭事情	奨学金の貸与を希望するに至った家庭事情や、その他特に説明を要することを記入してください。(200字以内で詳細に記入)						

「※」の箇所は、該当するものを○で囲んでください。

### 学校記入欄

※の箇所は、該当するものを○で囲んでください。

成績 ※	第二種奨学金の学力基準に 該当する ・ 該当しない
人物 ※	特に優れている ・ 優れている ・ 適している ・ 努力がいる ・ かなり努力がいる
推薦所見	(特記すべきことがあれば記入してください)

この学生は、貴機構の奨学生として人物、学力、家計が推薦基準に合致していることを認め、推薦します。

(西暦) 年 月 日

独立行政法人  
日本学生支援機構理事長 殿

学 校 名 \_\_\_\_\_

学校長名 \_\_\_\_\_

(※学校長印不要)

ご記入いただいた情報及びあなたの奨学金に関する情報は、奨学金貸与業務(返還業務を含む)のために利用されます。この利用目的の適正な範囲内において、当該情報(奨学金の返還状況に関する情報を含む)が、学校、金融機関及び業務委託先に必要に応じて提供されますが、その他の目的には利用されません。機関保証加入者については、機構が保有する個人情報のうち保証管理に必要な情報が保証機関に提供されます。また、行政機関及び公益法人等から奨学金の重複受給の防止等のために照会があった場合は、適正な範囲内においてあなたの情報が提供されます。



【様式C】「家計状況申告書」の  
収入合計金額Aを記入

様式【C】「家計状況申告書」の  
所得合計金額Bを記入

同一生計の家族	続柄	氏名	年齢	所得の種類 ※	収入金額	所得金額
	父	奨学 一郎	55	給与・ <b>自営</b> ・その他	8 3 0 万円	
母	奨学 花子	50	給与・ <b>自営</b> ・その他	1 0 0 万円		
			給与・ <b>自営</b> ・その他		8 0 万円	
祖父	奨学 五郎	85	給与・ <b>自営</b> ・その他			
			給与・ <b>自営</b> ・その他			

様式【C】「家計状況申告書」の  
収入合計金額Bを記入

続柄	氏名	設置者 ※	就学先学校の種類 ※	通学別 ※
弟	奨学 次郎	国公 <b>私立</b>	小・中・ <b>高</b> ・高専(1～3年次)・高専(4年次以上)・専修(高等)・専修(専門)・大学	<b>自宅</b> 自宅外
妹	奨学 月子	国公 <b>私立</b>	小・中・ <b>高</b> ・高専(1～3年次)・高専(4年次以上)・専修(高等)・専修(専門)・大学	<b>自宅</b> 自宅外
		国公・私立	小・中・高・高専(1～3年次)・高専(4年次以上)・専修(高等)・専修(専門)・大学	自宅 自宅外

家族情報欄に記入した家族人数  
(本人含む)と一致させてください

就学者情報欄に記入した就学者人数  
(本人含む)と一致させてください

世帯人数  
(本人含む) **6** 人

就学者人数  
(本人・就学前の弟妹含む) **3** 人

特別控除額	金額
ア. 本人の就学者控除	(一律74万円) 7 4 万円
イ. 母子・父子世帯(18歳未満の子女及び60歳以上で経済力のない祖父母の世帯等)	(一律99万円) 万円
ウ. 障害者のいる世帯(公害疾病認定を受けた人、常に就床を要する要介護者等)	(一人につき99万円) 9 9 万円
エ. 主に生計を維持している人が別居している世帯(別居による住居・光熱水費・家具等の実費)(71万円限度)	万円
オ. 長期療養者のいる世帯(6ヶ月以上療養中の入または療養を必要とする人)	万円
カ. 火災・風水害または盗難等の被害を受けた世帯(被害額または被害による支出増・収入減となる金額)	万円

奨学金の貸与を希望するに至った家庭事情や、その他特に説明を要することを記入してください。(200字以内で詳細に記入)

**申込者本人記入必須**

※奨学金の貸与が必要かどうか判断するための項目ですので、必ず記入してください。  
※主に生計を維持している人が無職(失職)の場合には、その無職(失職)となった年月、理由、現在の生活費の出所等を具体的に記入してください。  
※災害・震災に被災したことがある人は、家庭事情欄にその旨を記入してください。

特別控除額(ウ・エ・オ・カ)は、  
控除する額の証明書(写し)を提出してください。

## 学校記入欄

※の箇所は、該当するものを○で囲んでください。

成績 ※	第二種奨学金の学力基準に <b>該当する</b> ・ 該当しない
人物 ※	特に優れている <b>優れている</b> ・ 適している ・ 努力がいる ・ かなり努力がいる
推薦所見	(特記すべきことがあれば記入してください)

この学生は、貴機構の奨学生として人物、学力、家計が推薦基準に合致していることを認め、推薦します。

(西暦) **2019年 10月 20日**

独立行政法人  
日本学生支援機構理事長 殿

推薦日と同じ日付を  
記入してください

学校名 \_\_\_\_\_

学校長名 \_\_\_\_\_

(※学校長印不要)

## 2020 年度 第二種奨学金（海外）申込書〔海外大学用〕記入要領

### 表面

#### 「親権者（未成年後見人）」欄

記入日において本人が未成年者（20 歳未満）の場合は、親権者がそれぞれの欄に自署押印してください（認印可、スタンプ印不可）。※ 同一筆跡・同一印鑑による作成は認められません。

#### 「海外入学（編入）予定学校」欄

【様式 B】「留学計画書」の「1. 入学予定学校」に記入した内容に合わせ、奨学金の貸与を開始する学校を記入してください。

「学部・学科」欄は英語名を記入してください。ただし、中国・韓国・台湾等の学校で英語名がない場合は、日本語名を記入してください。

#### 「連帯保証人」、「保証人」欄

連帯保証人及び保証人は、「貸与奨学金案内」（8～9 ページ）の選任条件をよく読み、条件に合致する人を選任してください。依頼する人によく説明して承諾を得たうえで、申込者本人が全ての項目にもれなく記入してください（連帯保証人、保証人自身が記入する必要はありません）。

無職の場合は勤務先名欄の「□無職」にチェックしてください。

### 裏面

#### 「就学者を除く家族」欄

父母、祖父母、就学前の弟妹等、就学者を除く同一生計の家族を全員記入し、【様式 C】「家計状況申告書」に記入した生計維持者の収入金額、所得金額の合計を、それぞれ「収入金額」欄「所得金額」欄に記入してください。

#### 「就学者」欄

本人以外の就学者を全員記入してください。就学者に該当するのは次の学校に在学している人です。

小学校、中学校、高等学校、高等専門学校、専修学校（高等課程、専門課程）、短期大学、大学、大学院

※以下は就学者に該当しません。

×科目履修生、×聴講生、×研究生、×一般課程の専修学校生、×各種学校生（予備校、職業訓練校）

#### 「世帯人数」欄

本人を含む同一生計の家族の人数を記入してください。

#### 「就学者人数」欄

本人を含む就学者人数を記入してください。

#### 「特別控除額」欄

「イ」～「カ」で該当するものがあれば、控除額を記入してください。

※「ウ」～「カ」については証明書類の添付が必要です（「貸与奨学金案内」36～39 ページを参照してください）。

※「エ」「オ」「カ」については、その実費を記入してください。

### 訂正方法

記入を間違えた場合は、訂正箇所に二重線を引き、その上に訂正印（本人印）を押印のうえ、余白に記入し直してください。



## 第二種奨学金（海外） 奨学金振込口座届

在学（出身） 学校名		氏 名 (漢字)	
---------------	--	-------------	--

い  
ず  
れ  
か  
片  
方  
を  
選  
ん  
で  
ご  
記  
入  
く  
だ  
さ  
い

ゆうちょ銀行以外の金融機関 （普通預金口座に限る）							
金融機関名（カタカナ）			該当の金融機関に○		店名（カタカナ）		該当の数字に○
			銀 行 労働金庫 信用金庫 信用組合				1 支 店 2 出 張 所
金融機関番号	店 番 号	預金種目	口座番号(右づめで記入してください)		口座名義人（奨学生本人名義に限る）		
		1普通 (総合)			フリガナ	氏 名	
					氏名		

  

ゆうちょ銀行 （通常貯金口座に限る）				
記号	番号（右づめで記入してください）		口座名義人（奨学生本人名義に限る）	
			フリガナ	氏 名
			氏名	

### 注 意

- ◎国内のゆうちょ銀行，都市銀行，地方銀行，第二地方銀行，信用金庫，信用組合（一部を除く）及び労働金庫に限られています。従って，信託銀行，農協，外資系銀行（シティバンク等），ネットバンク等（新生銀行，あおぞら銀行，セブン銀行等）は取り扱いません。また，普通預金口座または通常貯金口座のみ使用可能で，貯蓄預金口座は使用できません。
- ◎「三菱UFJ銀行」以外の英字名称の金融機関は英字部分をカタカナで記入してください。
- ◎濁点、半濁点は1字とします。
- ◎本店に口座を設けた場合は「ホンテン」と記入してください。

ご記入いただいた情報及びあなたの奨学金に関する情報は、奨学金貸与業務（返還業務を含む）のために利用されます。この利用目的の適正な範囲内において、当該情報（奨学金の返還状況に関する情報を含む）が、学校、金融機関及び業務委託先に必要に応じて提供されますが、その他の目的には利用されません。

機関保証加入者については、機構が保有する個人情報のうち保証管理に必要な情報が保証機関に提供されます。また、行政機関及び公益法人等から奨学金の重複受給の防止等のために照会があった場合は、適正な範囲内においてあなたの情報が提供されます。